

「母子保健教室」日程決まる

あわせて育児相談も行なう

町では、お母さんの健康を守り、心身ともに健康なよい子を産み育てるために一年間の計画をたて（予定）老人福祉センターにおいて、母子保健教室を開催します。

この教室で、妊娠、出産育児、家族計画の正しい知識を身につけてもらい、同時に、母体保護及び先天性異常児の出生を防止し、健康な家庭生活ができるよう妊婦検診も行ないます。

保健婦は、住民の病気予防と健康の保持増進のため

なお、全科目修了者には修了証書を交付します。ただし未修了者は次回受講により修了できることになります。

昭和45年度 母子保健活動予定表

項目 月	母子保健教室	妊婦検診	育児相談・産婦相談
6	16日 第3課 家族計画(4月第1課修了式 5月第2課)	滝田先生	5日 柿岡 小幡 19日 芦穂 恋瀬
7	21日 第1課 妊娠分娩の生理(精神衛生講話・太田先生)	一	3日 瓦会 國部 17日 林 小桜
8	18日 第2課 妊産婦の病気と栄養 赤ちゃんの保育(歯科検診)	江畑先生	一
9	22日 第3課 家族計画・修了式	一	一
10	23日 第1課 妊娠分娩の生理	桜井先生	9日 柿岡 小幡 19日 芦穂 恋瀬
11	17日 第2課 妊産婦の病気と栄養 赤ちゃんの保育	一	6日 瓦会 國部 20日 林 小桜
12	18日 第3課 家族計画・修了式	滝田先生	一
1	19日 第1課 妊娠分娩の生理	一	一
2	16日 第2課 妊産婦の病気と栄養 赤ちゃんの保育(歯科検診)	江畑先生	5日 柿岡 小幡 19日 芦穂 恋瀬
3	16日 第3課 家族計画・修了式	一	5日 瓦会 國部 19日 林 小桜

母子保健教室 午前8時~11時まで
妊婦検診 午前9時~午後2時まで
育児相談と産婦相談 午前9時~午後2時まで

- 婦女検診要項
- 血液検査 ○ 血圧測定
- 尿検査 ○ 血液型検査
- 貫血検査

など

①家庭訪問

②集団指導

③老人健康診査

④衛生教育

⑤病気の予防及び健康増進

⑥育児相談 ○ 血圧健康相談

⑦妊婦検診 ○ 乳幼児検診

⑧母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

⑨病気の予防及び健康増進

⑩育児相談 ○ 血圧健康相談

⑪母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

⑫病気の予防及び健康増進

⑬育児相談 ○ 血圧健康相談

⑭母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

⑮病気の予防及び健康増進

⑯育児相談 ○ 血圧健康相談

⑰母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

⑱病気の予防及び健康増進

⑲育児相談 ○ 血圧健康相談

⑳母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉑病気の予防及び健康増進

㉒育児相談 ○ 血圧健康相談

㉓母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉔病気の予防及び健康増進

㉕育児相談 ○ 血圧健康相談

㉖母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉗病気の予防及び健康増進

㉘育児相談 ○ 血圧健康相談

㉙母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉚病気の予防及び健康増進

㉛育児相談 ○ 血圧健康相談

㉜母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉝病気の予防及び健康増進

㉞育児相談 ○ 血圧健康相談

㉟母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉟病気の予防及び健康増進

㉟育児相談 ○ 血圧健康相談

㉟母子保健教室 ○ 座談会、各種学級など必要に応じて開く

㉟病気の予防及び健康増進

㉟育

時間の励行でむだな生活から脱皮しよう

一日、一年が短かく感じられる忙しい世の中です。当然、時間がたいせつにされなければならないのに、現実には各種会合などの時間はほとんど守られていません。そこから「八郷時間」といったことがあります。そこで、町の社会教育の今年度の重点目標の一

つとして、「時間の励行」をとりあげ、公民館が主体となって強力に推進して行くことになりました。

簡単なようで、容易なことではないでしょうが、一人一人の自覚にさえられて実行に移されるよう、次のことがらを提案します。

①各種会合の責任者は集まることの無理のない日時をくむこと

②開く時間だけでなく、終了時間も明確にできるようにする

③会議、話し合いは、必ず予定時間内で終了するようにつとめること

④参会者が少人数でも、開会の時間がきたら必ず開会するようにする

⑤参会者は開会の5分前に必ず集合するようにつとめること

⑥話し合い活動の方法などについては、常に工夫してほしいこと

⑦会合への不参加、または遅れるときは、主催者へ

便利な方法で連絡する

ところの工夫、改善によります。

実行できそうなことがらをあげてみましたが、要是皆さん一人一人の自覚が第一と考えられます。

「私一人くらい遅れてる」とだれもそんな気持になつたら、会合は成立しません。時間の励行でむだな生活から脱皮し、明るい合理的な社会生活を営むようご協力を願います。

藍綬褒章を受賞しましたこの藍綬褒章とは、発明、公益など広く社会一般の利益のために尽くした人に送られるものです。

大字下林 鈴木栄次 郎^二さんがさる四月一日、国から

た人に送られるものです。鈴木さんは大正十年四月一日、統計調査員に任命され、大正十四年の第二回国勢調査を皮切りに現在まで約四年もの間、国勢調査をはじめとしていろいろな統計調査事業に協力してきました。このことが認められ今度の受賞となりました。

鈴木さんはこれまで、調査をはじめとしていろいろな統計調査事業に協力してきました。このことが認められ今度の受賞となりました。このことが認められ今度の受賞となりました。

鈴木さんはこの好意によつて魅刀ある、住民のいこいの場となる公民館の向上にたいへん役立つことでしょう。

鈴木さんに「藍綬褒章」

四五年間も統計調査員

南中学校と明中学校のプール建設が、四月二十一日から始まりました。大きさはどちらも同じで、二五メートルの七コースです。

完成は七月十日を予定しており、生徒たちが夏に十分利用できるよう、完成を急ぐことになりました。プールの金額、大きなものはあります。大きさはどちらも同じで、二五メートルの七コースです。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

新しい役員の名前は次のとおりです。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。



始まった南中のプール建設

新しく指導官

八郷町消防団の役員の一部が変わり、新しく指導官制度ができました。

八郷町消防団の役



公民館長 田 村 精

「コ メ」と農 民

■保護政策と農民

今年も田植え時期になつてきました。農民は複雑な気持ちで田植えをすることであらう。

コメの減産がはつきりした数字で打ち出された。コ

メを頼りに生きてきた『米作農民』にとっては、七〇年は暗い幕あきといえよう。農林省のコメの減産目標でみると、コメどころを比較的多くもつ茨城では一・二六%が減反となる。全国平均は一%だからやや上回る。面積にして一二、八一〇ヘクタールの減、今年の本県産米は五二、三〇〇トンになるという。

あり余るコメの問題は、ここ数年予算編成の時期になると『食晉会計』の赤字といふことで、毎年のようにクローズアップされてきた。コメの自主取扱やコメ作りの自主規制をはかつたりして、食糧管理のムジューを作らなくそつとめたものの、政府の強い保護のあくメを捨ててまでおいそれと作物の転換をはかれなのは、農民がよく知っていることだ。『豊作貧乏』のことばもあるように、いまの複雑な流通機構のもとでは、生産者はまことに弱い。物価にはんろうされて生きる根なし草ともいはうがいいかも知れない

■生産調整と問題点
それほど不安定な生産者価格の中ではなんといつてもコメが頼りになる。不满はあっても政府が決められた手段で買上げてくれる。生活の安定もコメによってメドがつこうというものである。

だからコメの減産が県から市町村に流れ、そして末端の農家へということになったときに、はたしてスムーズにいくかどうかあやぶむ向きもある。一割強の減反を一律に農民に押しつけるのがはたして妥当か、あるいは専業農家をどうするのかも問題だ。

■ 食品の大半は輸入

からこの一〇年の『食料品自給率』というのが発表されたのはひにくであった。それにはコメだけがあり余っているほかは、大豆も、小麦も、落花生も、みな大量に輸入にあおいでいると記されている。大豆はなんと九三%が輸入品、小麦は八〇%、タケノコ五二%、落花生四〇%、クリ三〇%……こんなにも外国生まれの農産物が輸入されているのである。

この背景には、もちろん外国産のほうが価格が安いという経済の原則が生きていることはわかるが、それでもコメだけがあり余るほどあって、ほかの農産物は外国まかせ、というのではなく『農政不在』の印象をぬぐいきれない。コメ減反のあと農民の生き道こそ真剣に考えられるべきである。

だれもが学ぶ「社会教育」へ

時間励行など五つの目標

一九七〇年代は激変の時代といわれるが、その中でもっともぎびしい革新を迫られるのは農業ないし農村地帯であろう。したがって農業県であり農村地帯である本町にとって、一九七〇

年代の最大の課題は農業ないし農村地帯の革新問題であると考えられる。

農業の大きな転換による農業者の不安は大きい。今度は農業から生れるいろいろな問題、産業構造の変

化、米価の実質切下げによる家庭経済の代償としての賃金労働への移行の再編成などが山積みしている。とくに経済に連なる問題から農家の変化が急激になつてくると思われます。これに対処しきわめてきびしく、社会教育が特定の人、青年団とか婦人会とかいった人びとを中心にしてきた結果、社会教育といつたことをすれば一極端な言いかたをすれば一般の人は理解していないのが現実とうかがわれる。未

組織者にいかにして社会教育を理解させるか、また各種の講習、講座に参加しない人、または参加できない人、または参加できないむしろそうした人びとにPRすることにつとめたい。

どんなに誠意をもつても通じないかもしれません。しかし努力することにより、その速効性はないにしても大衆の理解度の高揚、大衆の力強い支持により解決します。

5月8日開講式。(写真)
60名の学園生が月2回づつ1年間勉強します。



青年学園を開講を開始

60名の学園生が月2回づつ1年間勉強します。

優秀な先生に

表彰状贈る

町の教育委員会では、優秀な教育職員を表彰することになり、五月七日柿岡中学校において、教育研究会総会の席上、第一回目として小・中学校の先生の中から一〇名の教育職員を表彰、表彰状に記念品をそえて贈りました。

本町小・中学校に通算一〇年以上勤務し退職した者、本町に一〇年以上勤務している者、本町の一〇年以内勤務して本町に一〇年以上勤務している者、本町の教育委員会では、優秀な教育職員を表彰することになり、五月七日柿岡中学校において、教育研究会総会の席上、第一回目として小・中学校の先生の中から一〇名の教育職員を表彰、表彰状に記念品をそえて贈りました。

日常における指導実践がとくに優れ、その勤務意

りです。

教育委員会では、町内小・中学校の先生の中から各教科別に「教科指導員」二名を任命しました。

指導員の先生には今後一年間にわたり、各学校を巡回して教科の指導にあたつてもうらうことになりました

ります。

かかること、自己充実を基礎とした社会教育振興のために活動の場を提供し、基本的諸条件を整備する。とくに著しい社会変遷に適確に対応して行くため生涯教育の大きな課題である。

社会教育推進の諸条件は、社会教育講座の開設推進、成人教育講座の開設推進、婦人会、青年団の組織の増強と活動の推進、青少年の健全育成、時間励行の推進

上野久夫(柿岡小) 桜井清志(柿岡中) 植仁(有明中) 柴山清(片野小)

小・中学校に

「教科指導員」

たため、自己充実を基礎とした社会教育振興のために活動の場を提供し、基本的諸条件を整備する。とくに著しい社会変遷に適確に対応して行くため生涯教育の大きな課題である。

社会教育推進の諸条件は、社会教育講座の開設推進、成人教育講座の開設推進、婦人会、青年団の組織の増強と活動の推進、青少年の健全育成、時間励行の推進

教育運営の方針決まる

■ 教育運営方針

一九七〇年代を迎えて社会は急速に高度化され多様化されて多くの変化が予想され、そこにひすみやかたよりが生じ、人間疎外の現象もでてきます。

こうした情勢の中で、町が田園都市づくりに取り組むためには数多くの困難をのりこえなくてはなりません。それを克服するためには、教育が創造性豊かなしかも旺盛な活動力に満ちた心身ともにたくましい青少年を育成するほかにありません

そこで、教育委員会では次のような六つの昭和四十五年度の教育運営方針を決定し、強力に推進することになりました。

① 学習指導の改善につとめ
② 学力の向上と人間性の開発につとめる。知識偏重に陥ることなく、手すみの行きとどいた指導により人間教育につとめる

③ 社会教育を充実し、生涯教育の実をあげることにつとめる。変ぼうしつつ

④ 教育職員の服務体制の確立につとめる。教育職員の専門性を十分發揮できるよう努める

⑤ 教育職員の服務体制の確立につとめる。教育は人である。よき教師のみが教育の実をあげ得ることを自覚し、かつ自負しての日常勤務であるよう努める

⑥ 施設設備の充実につとめ、諸条件の整備をはかる。将来を展望しながら、年次計画をたてて教育効果の効率化をはかる

無事でいますと便りを添えて母の日に着く贈り物

文
化
、
力の育成につとめる。じ
うぶな体づくりが激動する社会をのりきるため

④ 指導組織を強化し、研究体制の確立につとめる。

よく個の発見を試み、豊かな情操を培い、創造力や自制心の育成をはかる

から学ぶ意識の確立をはかる

教育運営の方針決まる

俳句 増子 海哉選

春の山重なり合へる廻かな
雪柳日毎に白さ増しにけり

短歌 吉田 次郎選

人並に背広姿に身を飾り歓迎会に吾も胸張る

甘い香りのみかんの花に蝶も舞い来る上曾山

柿岡 千田 政市

宇治会 萩原 美穂

思ひ出します八郷の昔真壁峠の団子茶屋

桜小屋 上田 三楽

湿気止め剤の活用

ノリのカン詰や薬品の中にはいっている湿気止めのシリカゲルや青ヶルは、湿気で飽和しても火でかわかせば何回も使えます。菓子の湿気防止、衣類類、タンスなどに使うと重宝です。ムシもつきにくくなります。